



消防だより 119

春の全道 火災予防運動の実施

4月20日(木)～30日(日)までの11日間に渡り、全道一斉に春の火災予防運動が実施されます。

冬から春へと季節が移り変わることで空気が乾燥し、火災が特に発生しやすくなるこの時期に火災予防思想の一層の普及を図り、火災発生防止、死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的として実施するものです。

洞爺湖支署では期間中、消防車両による火災予防広報や19時にサイレン吹鳴を行うなど安全で安心なまちづくりを旨とし、各種行事を予定していますので協力をお願いいたします。

火入れの時期となりました

春は、新しい息吹が芽生えるとともに、枯れ草が目につき季節でもあります。この時期は空気が乾燥していて農地などで枯れ草焼きの最中、周囲に一気に燃え移るなど、ちよっとした火の不始末で火災になる危険性が高く、消防車の出動する機会が多い時期でもあります。

火入れを行う場合は、消防の準備、周りに燃え移らない場所での実施、風の強い日は延期するなど火災の発生に注意してください。

防火管理者を 選任しましょう

消防法では、一定規模の防火対象物(ホテル、病院、福祉施設、学校など)で火災が発生すると人命への被害が大きくなる恐れがあるため、防火に関する講習課程を修了した人

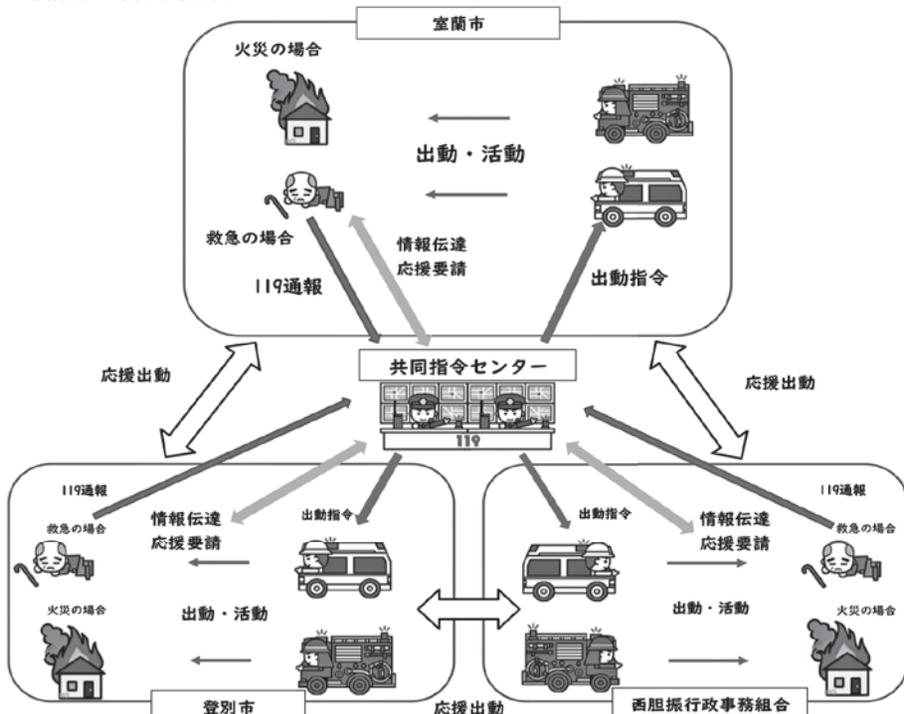
を防火管理者として選任し、消防計画を作成しなければなりません。すでに防火管理者を選任している防火対象物においても、人事異動などにより変更が生じた場合などは変更届出

を提出し、併せて消防計画の変更も必要となります。防火管理者の選任(変更)や消防計画についての問合せは最寄りの消防署まで連絡してください。

室蘭・登別・西胆振の3消防が 通信指令業務共同化へ動き出す！！

西胆振圏の3消防が通信指令業務の共同化に向けて協議を開始しています。3消防の消防通信指令センターを共同化し、119番通報を一括受理することで、迅速な出動につなげることが可能となります。火災や救助、救急などの災害が発生した場合、管轄消防本部だけでは対応できないと判断すると別の消防本部に応援を受けますが、応援を受けるには電話での依頼のやりとりが発生し時間がかかります。このような手続きの時間をなくし、迅速な出動につなげるのが通信指令業務共同化の狙いとなり、2026年2月からの運用開始を目指しています。

通信指令業務共同化後のイメージ



統一標語

『お出かけは
マスク戸締り
火の用心』